

研究・調査報告書

報告書番号 105	担当 札幌医科大学医学部薬理学講座
題名 (原題/訳)	
The effect of alcohol intake on insulin sensitivity in men: a randomized controlled trial. 男性でのインスリン感受性に関するアルコール摂取の効果: 無作為対照試験	
執筆者	
Zilkens RR, Burke V, Watts G, Beilin LJ, Puddey IB.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Diabetes Care 26(3): 608-612 (2003)	
キーワード	
アルコール摂取、インスリン感受性、糖尿病、無作為対照試験	
要 旨	
<p>対象: 住民データは、アルコール摂取は二面性の様相で糖尿病の危険性に影響していることを示唆している。しかし、このことについての対照介入試験は行われていない。本研究の目的は、中等度から重度のアルコール飲酒者 (40-110 g/日) で飲酒量を減少させた際にインスリン感受性が改善されるかどうか検討することである。</p> <p>研究計画と方法: 対象者は通常の飲酒パターンを維持した 4 週間の予備期間の後、二元交差比較介入試験へと振り分けられた。対象者は 2 回の 4 週間介入処置の各々で通常のアルコール飲酒から 0.9%アルコールビールへ変更するか、または通常のアルコール飲酒の維持が行われた。各々の 4 週間の試験期間終了時点でインスリン感受性が低インスリンブドウ糖注入試験とインスリン抵抗性指標 (HOMA) で評価され、アルコール摂取の生化学的指標 (γ-GT、HDL コレステロール) が測定された。</p> <p>結果: 肥満度指標 (BMI) が $26.4 \pm 0.61 \text{ kg/m}^2$ で平均 51.0 ± 2.7 歳 (平均 \pm SEM) の総数 16 名の健康成人が試験研究を最後まで終了した。(アルコール飲酒パターンの変化に伴って) アルコール摂取 (72.4 ± 5.0 対 $7.9 \pm 1.6 \text{ g/日}$)、γ-GT (24.4 U/l [95% CI, 19.7-30.2] 対 18.6 U/l [95% CI, 15.5-22.2])、HDL コレステロール (1.36 ± 0.07 対 $1.13 \pm 0.07 \text{ mmol/l}$) での有意な低下が見られた。しかし、インスリン感受性指標 (ISI)、絶食インスリン、ブドウ糖、HOMA 指標に関してアルコールの効果は認められなかった。</p> <p>結論: 健康男性の飲酒量で一日あたり 7.2 から 0.8 標準飲酒の減少は ISI や HOMA 指標で測定したインスリン感受性に変化をもたらさなかった。</p>	